

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第24回 西脇市子ども・子育て会議
開催日時	令和5年2月8日（水） 午後1時30分から3時まで
開催場所	西脇市役所 委員会室
出席委員の 氏名又は人数	12名
欠席委員の 氏名又は人数	4名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局8名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	3名
議事又は 報告事項	1 西脇市就学前教育・保育の推進に関する基本 方針に基づく取組について 2 令和5年度市内認定こども園等申請状況 3 ひとり親家庭アンケート調査結果について 4 子ども・子育て政策について 5 その他
会議の記録（概要）	
事務局	○開会 ○福祉部長挨拶 【報告】 ＜西脇市就学前教育・保育の推進に関する基本方針に 基づく取組について＞ 資料1に基づき、事務局から説明
会長	このことについて、質問や確認したいことなどがあ れば、発言をお願いします。

委員	<p>知り合いの子どもが、入園数カ月後に障害があることがわかった途端退園を求められたり、アレルギーがある子どもが入園を断られたりしている事例がある。</p> <p>こども園を運営する上で、対応できないこともあると思うが、そういった場合、こども園から幼保連携課に相談はあるのか。</p>
事務局	<p>個々の状況、お子さんの状況により、その園が厳しい状況であれば相談を受けることはある。転園の調整になれば市も関わるが、状況が詳しく分からない中でお答えしかねる。</p>
会長	<p>断るケースもあるということか。</p>
事務局	<p>基本的には受けてもらうようにするが、職員配置のこともあり園によっては厳しいところもあるので、そういうことが全くないということはない。できるだけお願いはするが園の状況によってはお断りせざるを得ないこともある。</p>
会長	<p>いきたいところに行けないかもしれないが、どこかの園にはいけるだろうということになるのか。</p>
事務局	<p>どこにも行けないということもあるかもしれない。全ての園が厳しい状況なので保育教諭の配置次第かと思う。</p>
委員	<p>保育教諭の不足が主な原因で受け入れが拒否されるというのであれば、市からの補助は財政的に厳しいのか。</p>
事務局	<p>予算の範囲内での補助はしている。保育教諭等の配置に補助が必要ということであれば、補助はさせていただき、障害児の受け入れに対しての人件費等も補助はさせていただいているが、実際は人材自体が不足しているというところが大きい。</p>
委員	<p>私は障害児教育を専攻し携わってきたものだから、自分が学生時代から学んできたことと、今聞いたこと</p>

	<p>があまりにも違うのでそれでいいのかと思う。障害を持っておられる方も全員どこかの学校に就学しましょうというのが、私が学生の時に始まった。子どもはもれなく教育の対象になるという気持ちでいたので西脇市でそういう返答を聞かなければならないことにびっくりしている。</p>
<p>会長</p>	<p>私は日本保育保健協議会の会長を務めているが、保育士のなり手がなく、またその質も落ちてきていると聞く。ましてや特別教育になると、そこに関わっていく方が減ってきているのも事実で、委員が思われるようなことにはなかなか進みにくい状況にある。昔とは違う状況ということも事実で、人材を確保することが難しい時代だと養成校の先生から聞いている。</p> <p>また、保育士の給料を上げようというシステムで、キャリアアップ研修をされているが、医学系のことにも取り組まれているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今行っている研修の中で、内科的な医師による研修は実施していない。発達障害等の知識を勉強したいという意見があった場合は、その分野の医師にお願いすることはある。今後、保育教諭が勉強したいということであれば、お願いすることがあるかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>キャリアアップ研修をしなくても給料を上げることが大切だが、市としてもそういう機会を多く作っていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>要望があれば調整させていただく。</p>
<p>委員</p>	<p>人材不足という話が出たが、何歳児の子ども何人に対して保育教諭何人という国が定める基準というのがあると思う。当然それは満たしていると思うが、西脇市独自の基準というのがあるのか。国の最低限の基準でやっているのか、それとももう少し人を増やす基準で運営されているのか教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>基本的な人の基準は国の基準に合わせているが、それに加えて特別な支援が必要な子どもは加配というこ</p>

<p>会長</p>	<p>とになる。その配置についての人材が厳しいという話をさせていただいた。</p> <p>国の基準も難しく、その基準を守っていると十分な保育ができない。保育教諭も加配の方も増やしてあげたいけれど、人材もないし、お金もない。国の基準を守っているだけじゃいけないという時代にきている。少子化ということを利用して、もっと十分な保育や教育をして欲しいと思う。先立つものであったり、人材だったり、難しいこともあるが、前向きに検討していただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>会長がいわれるとおりでと思う。最低限の基準で、その上の質を求めるにはやはり人材が必要かと思う。研修に参加するにしても、人の余裕がないと受けられないので、もう少し余裕があればと思うが、市としてはお金という部分でしか支援ができない。</p> <p>いろいろな方に夢を持って保育教諭になっていただけるような働きかけができないかと思っている。</p>
<p>会長</p>	<p>まちづくりをするときに、このまちで子どもを産んで育てたいと思うような地域づくりとよくいうが、この地で保育してみたいなとか、子どもたちの笑顔が素晴らしいからここで仕事してみたいというような環境づくりを考えていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>やはり国の基準というのは最低限の基準で、先ほど会長がいわれたように、それが何か現代にそぐわなくなっている。私が教育委員をしている西宮市は国の基準よりも若干上積みした人の配置をしていると伺っている。おそらく現場訪問されて現場の意見というのを聞かれていると思うし、人が足りないという声も出ていると思うので、その点に力を入れていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、つまこども園の理事長をしている。国の基準というのは、0歳児なら保育士1人当たり子ども3人と決まっているが、実際問題として1人で3人をみるのは難しいということなので、園でそれを複数にしている。その辺は持ち出しがあってもやむなしというこ</p>

	<p>とでやっている。国でも考えてもらわないと市だけに いっても難しい問題である。</p> <p>国では、保育園、幼稚園、こども園と管轄が3つに 分かれている。なぜ区別されているのかよく分からな いが、素人考えだと一体化した方がこういう問題も進 みやすいと個人的には思っている。</p>
<p>会長</p>	<p>多くはこども家庭庁に集められるが、2つの管轄に 分けると聞いている。岸田首相が異次元の子育て支 援をするといわれていたが、本当はこれが異次元なの かもしれない。省が違ふと話が進まないようなことを ずっと今まで続けてきたので、やっとこども園で壁は 取れたかと思ったが、なかなかそれ以上は進まない。</p> <p>ここでいっても仕方ないかもしれないが、それも含 めて提言できるものは提言していきたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>国の基準はあるにしても、西脇市はどんな子育てを したいのかということだと思う。国で決まっているの のでできないといたら、せっかくの話し合いが実を結 ばない。西脇市はどんな子育てをして、私たちの将来 を託せる子どもをどんな大人にしていきたいのか、そ れを踏まえて西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例もで きたと思う。発想の転換というか、難しいことは難し いと思うが、私たちの思いや市民の思いがそういう形 で豊かになっていくといいなと感じた。</p>
<p>会長</p>	<p>そのとおりだ。他に意見があればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>西脇市としては必要に応じて予算の範囲内で補助す るつもりでいる。探してはいるが人自体が足りないとい うところが一番大きな問題かと思う。</p> <p>例えば西脇市の中で探したときに人がいない、いな いものは探しようがない。では、そうなったときに、 もっと人を増やすための方法として実際に免許を持っ ておられる方なり、免許を取ろうとする方を増やす方 法を考えていかないといけないと思う。小学校現場で も同じような悩みを抱えている。今、この教育という 現場に圧倒的に人が足りていない。この問題を解決す るのに探すというより、まずは人をつくるという方針</p>

事務局	<p>を西脇市だけでなく県または国に訴えて何とかしてもらわないといけないというのが私の考えだ。西脇市で今いい方法を考えておられるのであれば、教えていただきたい。</p> <p>なかなか人をつくるというところには手が届かないが、探す方向で潜在保育士等も対象にした就職フェアを年2回実施している。秋のフェアでは、登録されているが働かれていないであろうという方に対してもダイレクトメールを送った。なかなか成果には結びつきにくいですが、就職フェアなどは市と保育協会と共催で実施している。</p> <p><令和5年度市内認定こども園等申請状況></p>
事務局	<p>資料2に基づき、事務局から説明</p> <p><ひとり親家庭アンケート調査結果について></p>
事務局	<p>資料3-1、3-2、3-3に基づき、事務局から説明</p>
会長	<p>質問等あればお願いします。</p>
委員	<p>今は子ども食堂や物資の支援も徐々に広がりを見せているが市民の方のボランティア的な活動で終わっているような気がしている。行政として、ヤングケアラーへ1週間に一度はお弁当を届けるというようなことを斉藤知事がいわれていたが、そういうことも率先して行政の立場からやっていただいて、これはあなたが受けるべき権利だと支援していただけたらと思う。</p> <p>民間の子ども食堂も、コロナの関係で一緒にご飯を食べることができなくなった。お弁当を配ることや物資をお届けするような活動に変わってきている。なかには、うちはそういう家庭じゃない、もっと困っている人がいるのだから、そちらの人にあげてくださいと断ってこられるというようなことも聞く。こちらは本当に必要だと思っても、それを無理に押しつけることはできない。その辺が行政の立場からなら本当に</p>

	<p>困っている家庭の把握をして、必要ならば配っていくような形ができていればいいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>西脇こども園で子ども食堂をされていると聞いているが、他にもあるのか。</p>
<p>委員</p>	<p>私がボランティアで参加しているのは、仕事を辞められた3人の女性がされている、なかよしりぼんという子ども食堂で、以前はコープ西脇の2階を利用していた。宿題を持ってくると無料で、そこで一緒に宿題をして一緒にお弁当を食べる。就学前の子は無料で、親も一緒に遊んだり、お話を聞いたりして、お弁当をいただき、作ってくれた人に感謝を伝えて帰る。それがコロナでできなくなった。</p> <p>でも、その時には来られなかった子が、インスタグラムを見て申込みをされてお弁当を持って帰られる。一生懸命働いておられるひとり親家庭のお母さんが、今日はゆっくりしますとか、子どもと一緒にお弁当を食べられて嬉しいですといわれて、にこにこして持って帰られるので良かったと思う。コロナのおがげと言うか、そういう形で広がったのは事実だ。</p> <p>聞いた話だが、若い世代の方もそういう動きが見られているので、少しずつ広がっている感じはするが、やはり行政の立場からももっと支援をしていただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>山口県の小児科医が、自分の医院で子ども食堂をしておられて、そこを行政が支援する。子どもたちも集まってくるし、ボランティアも入ってくる。まちづくりの一環として、そういうことに取り組んでいるところもあるので、西脇市でもそういうことも検討していただけたらありがたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>商工会議所の女性会でも、バザーの収益金を子ども食堂へ届けたいという話も出たが、そういう場合はどこへ問い合わせをすればいいのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市内には子ども食堂が3カ所と、居場所ということで学習支援をされているところもあると聞いている。</p>

	<p>そういうボランティアや民間団体への活動助成は、社会福祉協議会でされていると思う。市はフードバンクを行っているし、社会福祉協議会もフードドライブを行っている。</p>
<p>委員</p>	<p>今回は、社会福祉協議会へバザーの収益金を持って行ったが、子ども食堂へ届けて欲しいとつけ加えた方がいいのか。</p>
<p>委員</p>	<p>社会福祉協議会の取組を説明すると、フードドライブということで、主に生活困窮の方に届けている。その中で子ども食堂にはお米などを渡すことが多い。一旦、いろんなものを預かり、困窮者の方や子ども食堂にこちらの方で仕分けをしているが、希望があれば届ける。ライオンズクラブは、総会の際に持ち寄っていただいたものを、社会福祉協議会に寄与いただくという形で運動をしていただいている。</p> <p>この事業は社会福祉協議会がやっているが、社会福祉法人の連絡協議会ということで取り組んでおり、特養施設、こども園が窓口になり、各家庭で賞味期限が近い、また家庭では賞味しないというものを持ち寄っていただいて、困窮の方にお配りしている。</p> <p>お金は善意銀行として前から預かっているが、それ以外にフードということで賞味期限を1カ月ぐらい残したものであれば、必要な方にお配りをするということで預かっている。</p>
<p>会長</p>	<p>他に質問等あればお願いします</p>
<p>委員</p>	<p>アンケートの子どもの悩みについて、教育・進路が32%だが、その親は経済的な心配があると説明されたが、その他に教育・進路の悩みの具体的なことを教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>子どもが進学を希望しているが、費用の工面というところで、資料に高校の資金や大学の資金、貸し付け等も紹介している。</p>
<p>委員</p>	<p>費用以外に教育・進路で何か問題・課題を抱えてお</p>

	られるようなことはないのか。
事務局	今ここで具体的な資料は持ち合わせてないが、回答された人は把握しているので個別には詳しい内容を聞いている。
事務局	進路の悩みということで、これはひとり親家庭の方へのアンケートだが、ひとり親家庭でなくとも、やはり進路に対する不安というか、進路を決定していく過程で、どの家庭でも悩みはあると思う。中学3年生がどこの高校がいいかというようなことや、自分の子どもに適した進路選択をしていくにはどうしたらいいのかということは、家庭では一番の関心ごとだと思う。ここでは悩みと書いてあるが、悩みなのか、未来を切り開いていくための考える思考の場なのかということではないかと現場の方からは思う。
会長	それは金銭的なことではなく、進路についての悩みということか。
事務局	学校現場の先生から聞いていると、やはり金銭的なことも中にはあるが、それ以外で高校の選択をどうしようかとか、将来の大学進学に向けてどういうふうにしていこうかとかいうことの相談が多い。
委員	ひとり親家庭から子ども福祉課や支援員への相談件数は分かるか。
事務局	令和3年度の母子父子自立支援員の相談件数は430件である。
会長	他に質問等あればお願いします。
委員	子ども食堂を新たに始めたい方や子どもの預け先、また、お母さんたちが集まれるような場所が作りたいたいという人がいるが、なかなかつくるのは難しいと思う。市から助言等してくれるような場所はあるのか。
事務局	ボランティアグループの育成になると社会福祉協議

<p>委員</p>	<p>会かと思う。</p> <p>社会福祉協議会に、西脇市ボランティアセンターがあり、ボランティアの登録をしたり、子どもの学習する場を提供したいという話を聞いたりする。それが既存の団体と活動が似ていれば、そういった活動をされている団体があるという説明をしたりする。5人以上集まると基準上のグループという扱いをするので、助成ができ、登録もして、いろんな活動の場も紹介できるので社会福祉協議会で相談に乗る。</p> <p>その中で今、地域で子ども食堂のようなことができたらなという相談も聞いている。</p>
<p>会長</p>	<p>子ども食堂というのは十分足りているのか、それとも、まだまだ必要か。</p>
<p>事務局</p>	<p>子どもたちのサードプレイスとって第3の居場所をつくっていかうという国の方針もあり、数ある方がいいとは思う。そのグループ同士のネットワークと、市とのつながりも今後つくっていかないと感じている。</p>
<p>会長</p>	<p>新たに始めたいと思う人を支援できるようなシステムをもっと明確化してもらいたい。</p> <p><子ども・子育て政策について></p>
<p>事務局</p>	<p>資料4-1、4-2に基づき、事務局から説明</p>
<p>委員</p>	<p>出産・子育てセミナーに2カ月に1度ぐらい主任児童委員が参加し、悩みごとがあればとって、名刺を渡している。</p> <p>総合相談窓口『はぴいく』で悩みごとの相談をされた方で、私たち主任児童委員も一緒に見守りをさせていただく必要がある方は、家庭児童相談員やこども福祉課職員と一緒に訪問している。その中で出会ったお母さんと知り合いになり、2人目が産まれたときにも相談の電話がかかってきたこともあるが、こういう事例は少ない。声を掛けてくださる方は少ないし、勇気</p>

	<p>を持って電話をかけられるのも難しい。</p> <p>気になるのが、ここでいうハイリスクアプローチという方たちは、この出産・子育てセミナーにはなかなか来られない。先日の出産・子育てセミナーには、お父さん、お母さん二人で来られていて、みんな幸せそうな笑顔で、いわゆるポピュレーションアプローチの方である。そこに来られてない出産や子育てに不安を抱え本当に困っておられる方こそ、私たちはつながって見守っていかないといけないのではないかと思う。今後は出産・子育てセミナーに出席されない方をターゲットに、見守りを始めていかないといけない。</p> <p>こども園や小学校に入って不登校になり、中学校でも全然通えないお子さんもいる。そうなるからより、その前の時点でサポートする方が、西脇市がやろうとしている切れ目のない子育て支援につながるのではないかと思う。その辺りを少し改善いただけたら嬉しい。</p>
事務局	<p>妊娠届と出生届の時の面談は100%できている。そこで気になる方は、継続して見守っている。中にはもういいですといわれる方もいるが、何とかアプローチしてつながりを持っている。</p> <p>市役所へ行くのはハードルが高いという方もおられ、その場合はみらいえにも子育てコンシェルジュがいるので相談してほしい。</p> <p>月に一度、3課の連絡会で声かけが必要な方の情報共有をしているので、その中から地域の見守りの方につなぐということも大事なことだと思う。</p>
会長	<p>今後、子育て世代包括支援センターと家庭総合支援拠点が見直されて、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもが相談できる場所という形になるのか。</p> <p>西脇市はこの辺の立て直し、見直しを具体的につくろうとしているのか。</p>
事務局	<p>今、児童福祉はこども福祉課、母子保健は健幸都市推進課、地域拠点はみらいえと3課になっているが、集約するようなことも検討して、こども家庭センターの設置に向けて協議しているところである。</p>

<p>会長</p>	<p>民間資源、地域資源も一体化とあるし、地域によっては業務を民間に委託しているところもあるので、そういうことも含めて西脇市全体で子どもが育ちやすい家庭環境づくりを目指してもらいたい。</p> <p>日本型の支援というのは支援員や相談員が途中で変わる。見本になっているフィンランドのネウボラでは担当保健師による支援がずっと継続される。日本の公務員の場合は、部署変更が必ずあるので、その辺が非常に問題だと思う。難しいことなのかもしれないが、連続して見守っていくということがとても大切なのでそういうことも念頭にうまく人材を配置してほしいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>会長がいわれた人事的なことというのは、こども家庭センターができるということか。できるのなら一番いいのだが。</p> <p>子どもを増やすには、こども家庭庁の図にも書いてあるが、新たな結婚数を増やすということか。そこに力を入れるよりは、結婚して子どもが1人でもできた家庭に2人目をつくろうというところに力を入れる方が効率的だと考える。1人目が生まれたときに、もう勘弁だ、もうこんな子育ては二度とごめんだというふうな思いをさせないことが非常に大切だと思う。今回のこの子育て応援というのは、そうならないようにするという意味では非常に意義が大きいと思う。ただ、2人目はもう勘弁だと思われる方々というのは、例えば夫の仕事が忙しくて、いわゆるワンオペ育児になってしまったという方々が多いのではないかと思う。</p> <p>逆にいうと、人事上優遇されるから長時間労働をする人よりも、子育てを一生懸命やっている人を人事上優遇するようなシステムがあれば、むしろ子育てに力を入れるようになると思う。それをいきなり民間で始めるのは難しい。個人的な意見だが、そういうことは市役所、公から始めていくべきだと思う。それが公務員優遇だという声も上がるかもしれないが、公務員の世界でできた制度が民間に波及していくということはよくある話だから、子育てをする人たちというのが優遇されるという仕組みもあるべきなのかなと思う。そういう視点も必要だとは感じる。</p>

会長	<p>なかなかそこまでの提言は難しいかもしれないが、一つの考え方としてあるということだ。</p> <p><西脇こども会議の開催について></p>
事務局	資料5に基づき、事務局から説明
会長	子どもたちにいろんなことを発言してもらうのも楽しみだ。話が広がることを期待している。
委員	西脇こども会議のチラシは完成だと思うが、今回は参加者募集のところで、一番訴えたい小学4年から17歳までというのを、表の一番見やすいところに書いて頂きたい。
委員	応募状況はどんな感じか。
事務局	小学生が8名、中学生が1名で、現在9名応募いただいている。
委員	参加申込方法だが、こども福祉課まで子どもが持参しようと思ってもなかなか行けないので、小学校で配布しているなら小学校で回収してもらうとか、あるいは市から取りに行くという形も考えて、応募しやすいようにしていただきたい。
会長	西脇こども会議は、今後も毎年開かれる予定か。
事務局	<p>継続していく予定なので、いただいたご意見は参考にさせていただきます。</p> <p>○教育創造部長挨拶</p> <p>○閉会</p>
問合せ先	<p>西脇市福祉部こども福祉課</p> <p>電話：0795-22-3111（代）</p>